

春告草

第 160 号 令和元年 11 月 13 日 進路指導部発行

「大学での学び」とは

ラグビーワールドカップが終わった。日本代表がプール戦を全勝で勝ち抜けたこともあって、日本中が盛り上がった 2 か月弱だった。週 2 回のディサービスを楽しみに出かけている 85 歳の義母も、ケアセンターで一緒に過ごすお年寄りたちとラグビーの話で持ち切りだったという。日本開催が決まったのは 10 年前の 2009 年のことだったことを最近知ったのだが、それだけ周到に準備をしてきたからこそその成功だったのだろう。

その W 杯の決勝戦の前日に、大学入試に関する大きな報道があった。21 年度入試から始まることになっていた「大学入試英語成績提供システムの導入見送り」である。延期期間は 5 年。発表の 1 週間前に「身の丈発言」した文科大臣の説明によれば、全国の受験生が公平に受験できる環境を提供できないというのが延期の理由だった。北海道大と東北大が資格・検定試験を入試には利用しないと早期に発表した背景には、北海道地区、東北地区の受験生が不利益を被るということがあったが、北の果てに住む高校生が首都圏の高校生と同じ条件で検定試験を受験できる環境が 5 年で整えられるものだろうか。入試改革を本気で考えているなら、これからの 5 年間でしっかりと準備してもらいたいものだ。

さて、前置きが長くなりましたが、4 年生、5 年生対象に「大学模擬講義」が昨日行われ、明日も 2 日目が行われる。高校生レベルでは理解できない難しい内容があるかも知れませんが、しっかり受講して「大学での学び」を体験してもらいたい。大学へ進学するのがあたり前になっている時代だからこそ、大学へ進学する意義なども改めて自分に問いかけてみよう。今回は、過去の記事を再編集して、大学での学びについて書いてみたいと思います。

答えの見つからない世界に分け入る

初等・中等教育ではカリキュラムに沿って、習得しなければならない知識を正しく伝え、その正しい答えを速やかに出すという学習能力が求められます。しかし大学に入った途端、それは全く違う展開になります。自分で問いを立てて、まだ答えの見つからない、あるいは複数の答えがある世界に入っていかなければなりません。大学では教科書に載っていることではなく、自分なりの問いを見つけ、答えを見つけなければいけません。

私の学生時代は、図書館が知識の宝庫であって、そこへ行けば自分の知らないたくさんの知識に出会うことができました。図書館に通い、講義に出る、それが大学というものを利用する大きな比重を占めていたのだと思います。

今はインターネットという世界があります。そこが辞書となり、知識伝達の場所となります。自分が欲する知識はキーワードを入れさえすれば容易に得られる時代なのです。

それはどういうことか。「問いと答えが瞬時に結びつく」世界に生きているということなのです。インターネット相手だと、そこで考える、自分なりの問いや答えを考えるということが難しくなります。そこを大学では、教師や仲間たちがうまく繋いでいかなければならないのだと思います。

生きた知識というのは、インターネットの世界の中にあるのではなくて、人間の中にあります。だからこそ、問いや答えに付帯するさまざまな知識が意外な形で結びつくことが起こります。個人の経験や、個人の考えに立っているこれまでの体験に埋もれている知識を発掘し、お互いに交換し合うことこそが、大学という場所のできることなのです。京都大学では「対話を根幹とした自学自習」を教育の基本理念に掲げていますが、これをきっかけに問いや答えを紡いでいく習慣をつくらなければいけません。それができてこそ、世界の中に出ていくことができるのです。(以上、山際壽一京都大学総長へのインタビュー記事から)

疑うことなければ考えることなし

高校教育と大学教育との間には、違いがあります。大学時代の恩師の平井宜雄先生は、それを次の比喻で説明されました。高校では、生徒たちに泳ぎを教える教師は、向こう岸に立ってここまで泳ぐように指導しますが、大学では、教師も一緒に泳ぎます。たしかに教師は先頭に立って泳いでいますが、目指す向こう岸が、本当に教師の向かう方向にあるとは限りません。自分自身の頭で常に方向を考えなさい、それが大学生です、と。

(以上、東北大学大学院法学研究科 水野紀子教授 東北大学広報誌「まなびの杜 No.85」より)

勉強と学問の違い

現役高校生のあなたがしている「勉強」と、大学でする「学問」とは全く性格が異なります。一言で言うなら、問題を解くという作業と問題を生むという営みの違いです。

「問題を解く」とは、文字どおりのこと。「問題を生む」もまた文字どおり。であれば、勉強と学問の違いについてのとっかかりとしては、その「問題」とは何かを考えたいくなります。もったいぶるまでもなく、その違いは答えがあるかないか、にあります。

勉強では答え(＝正解)のある問題を解くが、学問では答えがない問題を生む。(以上、京都大学学際融合教育研究推進センター 宮野公樹准教授 「学問からの手紙」より)

学生になる。

「学校で学ぶ者のうち、大学や大学院、短期大学など高等教育機関では学生、中学校と高等学校では生徒と呼び分ける。根拠は学校教育法にあるが、日常会話、特に大学生の会話では彼らのことを『生徒』と呼ぶのが一般化している。」(日本労働研究雑誌No. 657 駒澤大学 伊藤茂樹教授)

一般的には「生徒」は未熟で他律的、依存的に「教えられる」存在であるのに対して「学生」は自律的、自立的に「学ぶ」者と区別されてきた。今は、大学生なのに受動的な学習習慣から抜け出せない「生徒」が多いという。自分たちを生徒と言って、何の違和感も持たない大学生も多いらしい。昨年、夏休みに行われた「主要大学説明会」では、いろいろな大学の先生がこれから受験する高校生に「教わる」から「学ぶ」へ勉強の仕方を切り替えろと、メッセージを送っていた。皆さんは「学生」にならなければいけない。

自分が信じていることは決して諦めてはいけない

京都大学はノーベル賞、フィールズ賞、ガウス賞のように世界的権威のある賞の受賞者をたくさん輩出してきたが、まだ現役の先生もいて、学生たちは勿論のこと、私たちにとってそういう方々と接することはとても貴重な体験となっている。接して分かるのは、受賞に到るまでの過程が決して平坦ではなく、時には静かに、時には激しく、さまざまな学問的論争を経ながら今日までやってこられたということ。そこには、自分のやっていること、自分が信じていることをあきらめないという一貫した姿勢がある。もちろん、そこに執着していても間違いは起こるので、その時は、間違いは間違いとして認めなければいけない。しかし、自分が見たことをいかに信じるかということが大切である。

科学者の本当の喜びというのは、突然やってくる。それは、賞を取るということではなくて、自分が追い求めてきた「青い鳥」がある瞬間、自分のもとの舞い降りてくる時である。そういう体験は、人生の中で何回もあるものではないが、その瞬間、誰もこれまで見ていなかったこと、考えていなかったことがずっと見えて、分かったという瞬間がくるのだ。そのおかげで世界が変わって見える、あるいは、これまでの常識が完全に覆されるということが起こる時は、研究者として至福の時である。(以上、山際壽一京都大学総長)

三鷹市民と 東京大学三鷹国際学生宿舎生との集い

平成6年度から始まった企画で、今回で26回目の開催。東大生との交流や入試担当の先生にお話を伺える数少ないチャンスです。「刺激」を求めて出かけてみてはどうでしょう？

日 時：12月7日(土)11時～15時

場 所：東京大学三鷹国際学生宿舎 共用棟ホール

第1部 講演 11:10～12:30

「皆さんにもある遺伝子のスイッチの話」

太田邦史氏 東京大学教養学部学部長 理学博士

第2部 懇親パーティー 13:00～15:00

三鷹市民と三鷹国際学生宿舎生・留学生との懇親パーティー

三鷹国際学生宿舎生によるポスター発表

三鷹国際学生宿舎生・留学生による特技披露

主 催：東京大学教養学部

奨学金制度を調べる

経済的事情で大学進学が閉ざされてはならない。だから、2020年度から授業料減免と給付型奨学金を柱に据えた、高等教育の無償化が始まる。

給付型奨学金は日本学生支援機構(JASSO)がすでに実施していて、20年度からは給付額がアップする。受け付けは既に終了していて、毎年6月頃に高校3年生を対象に募集がある。(春告草141号記事参照)

高等教育無償化は、年間所得が約380万円以下の世帯が対象だが、対象外の世帯が必ずしも楽に大学進学ができていたわけではない。国税庁発表の「民間給与実態統計調査」によると、18年の平均給与は約441万円。大学に進学したときの初年度の学費の額は、国立大で約82万円、私立大文系学部で約126万円、理工系で約162万円、医学部で約735万円である。このため奨学金制度を利用している世帯は多く、大学生のおよそ3人に1人がJASSOの奨学金を利用している。奨学金のうち、貸与型は卒業と同時に借金を背負うことになるので、利用は慎重にならなければいけない。その点、給付型の奨学金の場合は、返済不要である。所得、成績などの基準は厳しいが、利用する価値は充分にある。

返済不要！給付型奨学金制度

JASSO以外では、給費制試験などの名称で行われている試験制度がある。

神奈川大では、給費制試験に合格すると、4年間分の授業料を超える奨学金を給付する。専修大はスカラシップ入試の合格者に対し、4年間の授業料と施設費を免除する。武蔵野大、国士舘大などでも行っている。優秀な学生の確保が目的だ。

明治大の特別給費奨学金は、入学試験の成績が特に優秀な者を対象に授業料相当額を給付する制度。申し込みは特に必要はなく、法、文、理工、情報コミュニケーションの各学部の「一般選抜入学試験」「全学部統一入学試験」および「大学入試センター試験利用入学試験」の合格者から採用される。採用人数などは一切公表されていない。この他の大学でも、入試成績が特に優秀な合格者に特待生合格として、授業料免除などの特典が与えられるケースがある。

給費生はアルバイトなど学業以外の時間を取られることが少ないため、海外留学など様々な活動に積極的に取り組む傾向にあるようだ。

入試前予約型給付奨学金制度

給費生試験の他にも、受験前に奨学金の予約を受け付ける制度がある。「入試前予約型奨学金制度」といって、受験する前にあらかじめ、入学試験に合格したら入学後にこの奨学金を利用する旨を申し込む制度である。

申請後、入試を受験する前に、保護者の年収制限など大学が定める諸条件について審査があるのが一般的で、採用された場合は、通知が送られてくる。その後受験し、めでたく合格し入学した後、所定の手続きを行うことで、数十万円といった金額が支給されたり、授業料が減免・免除されたりする。給付型なので返済の義務はない。

給付型の奨学金制度はこれまでもあったが、募集が入学後だったり、給費生試験のような指定された入試の成績優秀者が対象だったり、募集も数人程度の「狭き門」であることが多かった。しかし、最近の「予約型奨学金」は募集人数が比較的多く、基本的に合格すればよく(対象となる入試の制限や、高校在学時の成績条件があったりもするが)、受験前に奨学金がもらえるかどうか確定していることも多いので、入学後のマネープランが立てやすい。もちろん、JASSOなど他の機関の奨学金も併用できる。

このタイプの奨学金を導入しているのは、私立では首都圏、京阪神といった大都市圏の大規模な大学が多い。対象は首都圏の一都三県以外の受験生としているケースもあるが、明治大学が今年度より募集を始めた「おゝ明治奨学金」は首都圏出身者も対象とした制度である。毎年度末に家計状況や学業成績による継続審査があるが、授業料の1/2相当額が給付される。首都圏では他に、早稲田大、立教大などでも実施している。

次ページには首都圏の大学について、各大学独自の奨学金制度の実施状況を掲載した。一部は既に春告草で既報のもので、既に募集期間が終わったものも含まれるが、次年度向けに掲載しておく。詳細については必ず各大学のHP、パンフレットなどで確認してください。

■首都圏主要大学給付型奨学金一覧

大学名	奨学金の名称	対象者	採用人数	支給額など
電気通信大学	UEC修学支援奨学金	入	男女各10名以内	入学時20万円、2～4年次各10万円を支給
東京大学	学部学生奨学金	成 経	文理各1名	年額50万円
お茶の水女子大学	みかかずば奨学金	成 経	20名	年額30万円(2年間)
	アバナード奨学金	成 経	3名	理、生活科学部入試成績優秀者、在籍中100万円(1年につき25万円)
横浜国立大学	新入生スタートアップ支援金	成 経	23名程度	入学者支援、入学初年度に15万円
学習院女子大学	入学試験成績優秀者授業料減免制度	入	12名	一般入試A方式の成績優秀者、入学初年度の授業料免除
国際基督教大学	ICU Peace Bell 奨学金	入	14名	年間100万円を給付(原則4年間、修業年限内)
	ICUトーマス・High Endeavor 奨学金	入 経	40名	入学金および初年度年間授業料・施設費の1/3相当額を免除
駒澤大学	自己推薦入学試験(総合評価型)奨学金	入 経	10名	年間50万円を給付
	新人の英知(入試特待生)奨学金	入	64名	一般入試T方式の成績優秀者、授業料相当額を給付
	全学部統一日程入学試験奨学金	入	200名	全学部統一日程入試の成績優秀者、年額30万円
上智大学	新入生奨学金	成 入 経		年間授業料の全学 or 半額 or 1/3 を給付
	創立100周年記念上智・聖母看護奨学金	入	若干名	総合人間科学部看護学科入試の成績優秀者、25万円給付
成蹊大学	入学試験特別奨学金	入	30名	理工学部S方式入試合格者、1年次年間授業料半額相当給付
成城大学	澤柳奨学金	入	全額免除108名 半額免除108名	入試成績上位合格者、初年度授業料の全額もしくは半額免除
専修大学	スカラシップ入試奨学生	入	60名	スカラシップ入試成績優秀者、授業料相当額と施設費相当額
	新入生特別奨学生	入		公募制推薦、AO入試の成績優秀者、授業料の半額相当額(3年間)
玉川大学	給付型奨学金	入	50名	給付型奨学金入試合格者、授業料の全学、半額、1/3 を給付
	国公立大学併願スカラシップ入学試験	入	50名	学費等納付金を国公立大学授業料と同額の535,800円(年額)に減免
東京医科大学	特待生	入	一般入試成績上位35位 センター利用入試成績上位14位	初年度納入金500万円免除
東京経済大学	特待生制度	入	300名	一般入試・センター利用入試の成績優秀者、授業料全額免除
	スカラシップ入試	入	若干名	授業料全額免除
東京女子大学	予約型給付奨学金	成 経	約50名	入学金相当額20万円給付、所得基準あり
	「挑戦する知性」奨学金	成 入 経	約10名	初年度納入金(約120万円)給付
東京電機大学	「エンジニアのたまご奨学金プラス」	入 経		一般入試(前期)の成績優秀者、150万円給付
東京都市大学	特待生制度	成 入	51名(今年度実績)	一般入試(前期)の成績上位者、原則として4年間の授業料全額免除
	留学プログラム奨学生制度	成 入	231名(今年度実績)	留学プログラムの参加費用の全額免除と優先参加の特典
東京農業大学	特待生制度	入		一般入試統一型の成績優秀者、授業料免除(2年目以降は半額免除)
東京薬科大学	成績優秀者授業料免除制度	入	最大7名	生命科学部一般公募推薦、スカラシップ入試の成績上位者、全学免除
	成績優秀者授業料免除制度	入	121名	入試成績優秀者、授業料の半額免除
東京理科大学	新生のいぶき奨学金	入 経	100名	年額50万円
	乾坤の真理奨学金	入		一般入試(A方式又はB方式)の成績優秀者、年額50万円
日本大学	創立130周年記念奨学金	入 経	250名	年額30万円4年間給付、所得基準あり
	経済学部奨学金	入		入学時の成績優秀者、授業料全額給付、2年次以降も半額免除
日本赤十字看護大学	特待生(授業料免除)制度	入		授業料全額免除
武蔵野大学	申請型奨学金	入	288名	減免 A合格…全額4年間、B合格…半額4年間、C合格…半額2年間
明治大学	おゝ明治奨学金	成 経	1000名以内	授業料年額1/2相当額を減免
	特別給費奨学金	入		法、文、理工、情報コミュニケーション学部入試の成績優秀者、授業料全額免除
明治薬科大学	特待生制度	入	ABC各13名	授業料全学免除、A…3年間、B…2年間、C…1年間
立教大学	GLAP奨学金	経	若干名	年額120万円
早稲田大学	めざせ！ 都の西北奨学金	経	約1200名	半期分授業料相当額免除・4年間継続
	小野梓記念奨学金	経	約200名	年額40万円・4年間継続
神奈川大学	給費生制度	入		学部に応じて年額100～135万円×4年間給付
	予約型奨学金	資 経	200名	文系年額40万円、理系年額50万円
文教大学	入試成績優秀者特待生制度	入		入試成績優良者、年間授業料から40万円を免除

(注) 成…学業成績優秀者対象の奨学金 入…入試成績優秀者対象の奨学金 資…資格取得者対象の奨学金 経…主に経済支援者対象の奨学金